

## (モデル事業) ハイブリッド型地域連携・地域移行について

## 1 概要

区立中学校の内、モデル校を5校設定し、学校部活動の指導員配置パターンを3つ（Ⅰ：委託事業者（地域のスポーツクラブや民間事業者等）、Ⅱ：校外指導員・教員、Ⅲ：部活動指導員）に分けて併存、組み合わせて配置するモデル事業を実施する。

## 2 目的

学校が主体となり地域と連携する学校部活動の地域連携・地域移行に関する諸課題・効果を検証し、今後の本格的な地域連携・移行に向けたパイロットケースとする。

## 3 内容（予定）

## (1) 対象校

大森第四中学校、大森第三中学校、大森第十中学校、大森第六中学校、志茂田中学校

## (2) 対象部活動

- ・業務委託（Ⅰ） 15部活程度（運動部）
- ・校外指導員・教員（Ⅱ） アイ以外の部活（運動部・文化部）
- ・部活動指導員（Ⅲ） 22部活程度（運動部・文化部）

## (3) 開始時期

- ・令和6年4月 校外指導員・教員（Ⅱ）、部活動指導員（Ⅲ）
- ・令和6年5月 業務委託（Ⅰ）

## (4) 業務委託（Ⅰ）における指導員

- ・部活動指導員（Ⅲ）と同等程度の資質・経験を持つ指導員を学校に配置して、部活動の指導・管理を行う。
- ・学校は責任者を通じて、指導員を指揮・命令する（業務委託のため）。

## (5) その他

- ・業務委託における指導員（Ⅰ）と部活動指導員（Ⅲ）は単独での部活動指導や大会引率等が可
- ・校外指導員（Ⅱ）は単独での部活動指導や大会引率等が不可

## 4 期待される効果

- (1) 指導者を学校外（地域等）から確保するため、教員の負担軽減となる。
- (2) 専門人材を活用することで、生徒一人一人が専門的指導を受けられる。
- (3) モデル事業を通じて把握できる諸課題・効果を検討することで、今後の地域連携・移行や学校部活動の在り方の検討が進むとともに、実証の場とできる。